

# 日吉地域九条の会 ニュース

2017年10月9日  
第58号  
代表 矢田部俊夫  
連絡先 小嶋勝彦  
港北区日吉本町  
2-40-13  
TEL045(563)9175

## 対北朝鮮、無条件対話を！

### 世話人(小嶋)からの報告

### 市民と野党の共闘の成果

最初に一昨日行われた総選挙の結果について触れておきたい。

改憲勢力は、自民281(改選前290)、公明29(35)、希望50(57)、維新11(14)の計371(396)議席。8割を占めるに至り、改憲の危機がいつそう強まった。

でも、憲法を変えさせない勢力が改選前の議席数38から68(無所属をあわせると90前後)に大きく伸ばし、また野党第一党に希望の党を押し立て憲民主党がついた意味は大きい。市民連合と立憲野党の共闘の成果だ。

私たちの神奈川7区でも、立憲民主党の中谷一馬さんが市民と立憲野党の統一候補として立候補し、小選挙区では当選に及ばなかったものの惜敗率85%(前回50%)を得て比例区で復活当選。市民と野党の共闘の力を見事に示した。

### 安倍首相、北朝鮮脅威煽る

安倍内閣不支持が高いのに、

なぜ自民の勝利か。「北朝鮮脅威論」の影響が大きかった。

北朝鮮の行為は許せないが、なぜ北朝鮮との不安定な状態が続いているのか、考えてみたい。

### 朝鮮戦争—平和条約を求め、北朝鮮、冷戦を終わらせたくないアメリカ

朝鮮戦争は53年7月に休戦協定に調印されたが、未だに「最終的な平和解決」(平和条約締結)に至っていない。「北朝鮮は冷戦中は旧ソ連の核の傘に守られていたが、それがなくなつたいま、朝鮮戦争を終わらせてアメリカと平和条約を結ぶには、外交カードとして自前の核抑止力を持つ必要があると考えている」(ジャーナリスト田中良紹氏)。

ニューヨークタイムズ(6月8日付)は、北朝鮮に平和的に核とミサイルを放棄させるには、朝鮮戦争を終わらせる平和条約が不可欠の要素となる、と主張し、次のように述べている。「北朝鮮は、休戦ではなく、攻撃されない保証、米韓と世界による国家承認として、明確な平和宣

言を求めている」。一方、「歴代米大統領は、真剣な和平交渉を開始されるには、非核化へのコミットメントと将来のミサイル実験の停止を含む数多くの前提条件が必要と主張してきた。しかし、金正恩は、サダム・フセインやカダフィのような運命を辿らない保証を受け取ることなしに、北の核とミサイルを放棄することはしないだろう」と。

金正恩がアメリカのイラク戦争から得た教訓は、交渉開始に先立って武装解除(核放棄)はすべきではないということ。そもそも、交渉開始に条件をつけること自体が道理に合いません。

### 「日朝平壤宣言」に立ち返れ

2002年9月、小泉首相と金正日の共同宣言がなされた。「両首脳は、日朝間の不幸な過去を清算し、懸案事項を解決し、実りある政治、経済、文化的関係を樹立することが、双方の基本利益に合致するとともに、地域の平和と安定に大きく寄与するものとなる」との共通の認識を確認した」と規定し、日本の植民地支配、北朝鮮による拉致問題を解決し、「日朝国交正常化交渉を再開する」と宣言した。日朝関係改善はこの方向で可能だ。

### 核兵器禁止条約に署名を

日本がアメリカの核に守られるのは筋が通らない。まず日本は、核禁止条約に署名すべきだ。

### 意見交流に移りました

#### 中谷さん当選、本心に嬉しい

▼中谷一馬さんの当選は市民の会が盛り上げ、共産党が候補者を取り下げた結果だ。投票日前日の日吉駅での枝野さんの演説もよかった。若い中谷さんはさらに成長されると期待している。

▼自民党の「圧勝」は、得票率33%で6割の議席を占めるという小選挙区制がもたらしたものの。衆議院では8割を超える議員が憲法を変えたいという立場だ。国民の意識とかけ離れている。

▼こんどの選挙で憲法に対する各党の立場がはつきりした。また、選挙戦をとおして、憲法を守らなければいけないと国民の意識もいっそう変わってきたと思う。これ以上国民の意識が変わらないうちに国会の憲法改正発議を急ぎたいというのが安倍首相の考えだと思ふ。

▼この歳になつて初めて選挙戦を体験した。とてもおもしろかった。比例代表ではあつたけれども、中谷さんを当選させる経験をした。でも、国政をみると、安倍首相は早速、改憲加速を言っている。来年には憲法改正の国民投票が現実には迫っている。野党の一角が突き崩されて選挙を迎えたことは許せないこと、次の国民投票に向けて野党共闘を強めないといけないと感じている。【次ページに続く】

# 自民の「勝利」は小選挙区制がもたらしたもの。 市民＋立憲野党の共闘をさらに推し進めよう！

## 参加者の発言

### 【前ページの続き】

▼選挙のことについてとくに電話をしたら、北朝鮮が怖い、日本も核兵器をもつべきだと言う。安倍の北朝鮮脅威論はずいぶん浸透している

と改めて感じた。  
▼中谷さんには憲法を変え、勢いに引つ張られない強い立場と力をつけてほしい。自民党は改憲を公約にしてこれだけの議席を得たのだから、その方向を一気に進めるだろう。改憲阻止勢力を広げていくことが求められていると思う。

### 小選挙区制の弊害、顕著に

▼まわりの人と話をしても自民に入れるという人などいかなかった。ところがフタを開けてみると安倍の勝利だという。でも、比例代表をみると自民の圧勝ではない。ともかく憲法は何としても変えさせてはいけない。平和を守っていきたくない。不安が残った。  
▼なんでこんな安倍が勝つのかな、なんでかな：と思っている。  
▼いま、何人かの方が小選挙区制の問題を指摘された。比例代表の得票率から各党の議席数を計算すると、自民154(当選者数は281人)、立民92(54)、希望80

(50)、公明58(29)、共産36(12)、維新28(11)、社民2(2)。自民圧勝と言うが、

実力のほば倍の議席を得ている。「希望」を抑えて立憲民主が野党第一党になった意義は大きい。安倍暴走も野党第一党を無視はできない。また、共産党は予定候補を取り下げて野党共闘を成功させた。市民と野党の共闘の影の主役だと思

### 市民と野党の共闘に確信

う。市民と野党の共闘を広げていきたい。  
▼小選挙区制の弊害、よく納得できた。市民と立憲野党が共闘して戦争する国づくりを阻止することがますます大事になってきたと思う。ノーベル平和賞を受賞した「ICAN」の事務局長フィンさんが、日本がアメリカの核の傘に頼るとい

うことは「自分も核兵器の標的になるといふことだ」と述べたそうだが、まさにそのとおりだと思う。憲法9条こそ、日本を守る力だ。

▼知人が総選挙の結果をみてがっかりしていたが、きょうの皆さんのお話を聞いて、この選挙結果は憲法を守らせようという勢力が大きく前進という貴重な成果をあげたものでもあることを学べてよかった。中谷さ

### 北と無条件で対話開始を

▼北朝鮮問題だが、拉致問題は深刻な問題と思うが安倍内閣はこれを政治的に利用していると思う。これでは解決をいっそう困難にする。拉致被害者の中にも政治的利用を批判している方がいる。トランプにしても安倍にしても、北朝鮮を挑発している感じがする。  
▼北朝鮮の側からみれば、

冷戦が終わってソ連の核で守られることがなくなり、アメリカから自力で国を守るためには自国も核を持つという考えはなるほどとも思う。話し合いに入る前提として、北朝鮮に核の放棄を求めるといふのは順序が違う。安倍の「対話は無意味」、圧力一辺倒というのは理解されない。

### 植民地支配・拉致問題の解決、国交正常化を

▼15年前、小泉首相が北朝鮮に向いて両国首脳による日朝平壤宣言を発表といういい働きをしたのに、その後が続かなかつたのは残念に思う。安倍は平和についてどう考えているのだろう。私の使命は被爆体験の証言を続けること、戦争は絶対ダメです。  
▼小泉首相が北朝鮮で結んだ日朝平壤宣言には、2002年10月中に日朝国交正常化交渉を再開すること」と記している。まともな交渉をやつていけば、いまのような状況にならなかつた。いままらでもやるべきだ。当面は、今年7月に国連で可決された核兵器禁止条約に日本が署名することだ。  
ペシャワール会がアフガニスタンで、広大な砂漠を緑の大地にして60万人の命

を救っている。さらに、灌漑工事の現地技術者を養成し、これをアフガン全土に広げようとしている。これこそがまさに日本国憲法第9条の実践だ。憲法の底力を多くの人に知ってもらうことが大切だと思つている。  
▼日朝平壤宣言のことを初めて知った。いろんな資料ももらい勉強になった。来てよかった。

▼私は九条の会で自分の体験、家族の体験をお話し、ごいっしょに平和を考えてきた。脱原発の取り組みもしてきた。日本は火山国なのに、沢山の原発をかかえている。使用済み核燃料の問題もある。ところが国は原発再稼働を急ぐ。私にはこの原発が、最大問題だ。  
▼きょう初めてこの会に参加して、すごく勉強になった。これからも参加したい。  
▼日本の植民地支配を経験し、いまはアメリカに備える北朝鮮。一方他民族による直接支配の経験はなく(沖縄を除く)被爆体験をした日本。日本は、アメリカの言いなりでなく主体的に解決を考えるべきだ。  
▼拉致問題の政治利用は排除すべきだが、被害者家族の苦悩を考えると解決を急いでほしいと強く思う。(終)